

2021年11月12日

関係各位

会津大学 蛭名正司
(ebina@u-aizu.ac.jp)

教授学習過程研究会 2021年12月例会について

皆様、お忙しくお過ごしのことと思います。標記の研究会を下記の要領で行います。
よろしくご参集くださいますよう、お願い申し上げます。

記

○日 時 2021年12月5日(日) 10:00～16:00

○場 所 Zoom (ミーティングID, パスコードは、後日参加者にメールでお伝えいたします。)

○研究発表 (題目届出順)

1. 佐藤誠子・工藤与志文 (10:00～10:50)
「知識の道具的機能の教授が自己完結的推論の抑制に及ぼす効果—三角型四角形問題をとり上げて—」
2. 大道一弘 (11:00～11:50)
「構成法の現代的再評価 (仮)」
3. 渡邊大輔 (13:00～13:50)
「溶解学習における『粒子概念』『粒子モデル』の批判的検討—何を教えたいと願い、何を問い、何を描かせてきたか—」
4. 小野耕一 (14:00～14:50)
「知識操作の分類枠組みによる科学的ルールの教材分析 (仮)」
5. 蛭名正司 (15:00～15:50)
「内包量の概念的理解を促進する複数の外的表象の提示効果—表の役割に注目して— (研究計画)」

※研究発表は1人あたり50分(20分発表, 30分質疑を目安)とします。

※発表者以外で、参加を希望される方は蛭名までご連絡をお願いいたします。

※発表者には、後日、資料共有用フォルダを連絡いたします。

(問い合わせ先) 会津大学 蛭名正司 ebina@u-aizu.ac.jp